

## 特別展開催

# 青い目の人形 マーガレット・フォックス展

### 海を越え、時を越え、友情と平和のメッセンジャー



問合せ 東秩父村教育委員会事務局  
☎ 82-1230

**会期** 8月5日(土)から20日(日)の16日間  
**時間** 午前10時から午後3時  
**場所** 東秩父村和紙の里「ふるさと文化伝習館」  
**入場料** 無料  
**主催** 東秩父村教育委員会  
**内容** 今から90年前の昭和2年(1927)当時、日米関係は悪化していました。

アメリカの一部の人々は、この危機を両国民の相互理解で好転しようと、「世界の平和は子どもから」をスローガンに、日本の子どもたちへ12,700体ほどの友情人形「青い目の人形」を贈りました。現存するのは全国で216体、埼玉県では178体のうち12体が確認されています。

今回の展示では、本村に贈られた青い目の人形マーガレット・フォックス、人形に付けられていたパスポートや当時の写真を展示するとともに、「青い目の人形」の歴史を紹介し、両国の人形に込められた平和のメッセージを紹介します。

## 版画フォーラム2017 和紙の里ひがしちちぶ展(第14回)



### —好評のうち終了—

毎年恒例、「版画フォーラム2017和紙の里ひがしちちぶ展」が、6月17日(土)から24日(土)までの8日間、「東秩父村和紙の里」で開催されました。来場者は約2,400人にも上り、大盛況となりました。

この展示会は、版画フォーラム実行委員会が主催し、村をはじめ県や多くの機関、企業が後援しています。

14回目となる今回は、全国および海外から合わせて210人、369点の作品が出展されました。海外からは、アメリカやブルガリアより20点が出展され、会場は国境を越え

ての大作が集いました。

版画フォーラム大賞には、山崎正子さん(埼玉県)の『ミルクウェイの街』が選ばれました。この作品は大きな月夜に浮かぶ街、印象的かつ目を引くオブジェクトがあるなか、ふと目をそらすとそれらを包みこむようなミルクウェイ(天の川)。幻想という不確かなモノのなかにありながら、確かな「何か」が心を捉えて離さない作品です。その他もすべてが大賞と言っても過言ではない作品が並びました。

来場された方は「これが版画なの?私たちが知っている版画はもっと地味で、白黒の2色で・・・」と出展された鮮やかな色彩の版画に、驚きを隠せないようでした。

主催者は「皆さんの並々ならぬご協力により今年も成功することができました。本当にありがとうございました」と、感謝の意を述べておられました。これからも進化を続ける版画フォーラム、来年もまた新たな作品に歓喜が起こるでしょう。ぜひご期待ください。